

## 世界防災フォーラム『持続可能な防災まちづくりと防災人材育成～片平流防災まちづくり～』を開催しました(2017/11/26)

テーマ：防災まちづくり、防災人材育成、片平地区  
場所：仙台市国際センター白樺

2017年11月26日、東北大学災害科学国際研究所の主催、片平地区まちづくり会の共催により、世界防災フォーラムのテクニカルセッションとして、「持続可能な防災まちづくりと防災人材育成～片平流防災まちづくり～」を開催しました。当セッションには、約140名（うち、外国人30名）が参加しました。

本セッションは、東洋英和女学院大学の桜井愛子准教授がコーディネータとなり、片平地区まちづくり会のコアメンバー4名と片平子どもまちづくり隊の中学生10名がパネリストとなるパネルディスカッション形式で進められました。災害科学国際研究所の佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）がコメンテータを務めました。パネリストの発表順序と演題は、以下の通りです。

今野 均（片平地区まちづくり会）：『片平流防災まちづくり活動について』
堀野正浩（仙台観光国際協会）：『外国人住民と地域防災について』
柳谷理紗（片平地区まちづくり会）：『防災情報発信』
溝井貴久（片平地区まちづくり会）：『防災人材育成の取組み』
片平子どもまちづくり隊（片平地区まちづくり会）：『片平子どもまちづくり隊活動について』

また、会場の客席からは、片平子どもまちづくり隊の中学生の保護者、および子どもまちづくり隊の中学生の出身校である片平丁小学校の前教頭である大友重明先生からコメントがあり、子どもまちづくり隊が防災を含むさまざまなまちづくり活動に参画していることに対する称賛の声が寄せられました。

さらに、一般の来場者からも、「地域の魅力づくり、それを知り、町への愛着をもってもらうことが、とても大切であることを強く感じました。まちを愛し、まちづくりをすることが、結果として防災にもつながることが学べました。また、中学生の発表、とても良かったです。とても頼もしくて将来が楽しみです。素晴らしい企画に感謝です。」といった感想もアンケート（自由記述）により寄せられました。

セッションの最後に、コメンテータの佐藤健教授より、①片平子どもまちづくり隊の活動が主体的であること、②片平地区まちづくり会の執行部が子どもまちづくり隊や若手住民の意欲と能力を活かしていること、③防災活動を防災だけでなく、まちづくり活動の中の一つとして位置づけていることが素晴らしい。防災を含む多様なまちづくりに関する具体的な活動に取り組みながら、将来の地域人材を育成している片平地区の活動モデルは、他地域が学ぶべきロールモデルであるとまとめました。



会場風景



コーディネータの桜井准教授



会場風景



今野 均氏



堀野正浩氏



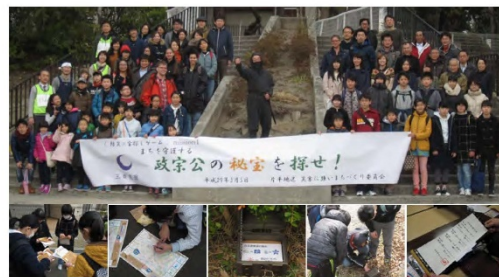
柳谷理紗氏



溝井貴久氏



片平子どもまちづくり隊の中学生 コメンテータの佐藤教授 パネルディスカッション風景



World BOSAI Forum  
 世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台  
 テクニカルセッション (公開)

## 持続可能な防災まちづくり と防災人材育成

### 一片平流防災まちづくり

Sustainable community development for disaster resilience and human resources development for disaster risk reduction

-Katahira-style disaster resilient community development-

# 2017.11.26(日)

## 16:20~17:50

会場 仙台国際センター Sendai International Center

会議棟3階白樺2 (Room 7) 事前登録不要 (当日、直接会場にお越し下さい)

主催 東北大学災害科学国際研究所

International Research Institute of Disaster Science, Tohoku university

共催 片平地区まちづくり会

Katahira community development association

まちづくり活動の中に防災活動を位置づけ、多様な人材の参画と若い人材の育成に取り組んでいる仙台市片平地区の活動を紹介し、持続可能な防災活動のモデルについて議論します。

The session introduces a case study of Katahira District in Sendai City, where DRR is included in one of community development activities. At Katahira District several efforts are made to encourage participation from diversified groups and to foster younger generation for serving for their community activities. The session aims at discussing about ways of sustainable DRR activities based on Katahira's experiences.

問合せ先: 東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター 電話:022-752-2106 <http://drredu-collabo.sakura.ne.jp>  
 International Collaborating Center of Disaster Education Research and Implementation

**プログラム**  
 Program  
 日英同時通訳付  
 Language: English/Japanese  
 (simultaneous interpretation provided)

---

**コーディネータ**  
 桜井 愛子 東洋英和女学院大学  
 Aiko Sakurai  
 Toyo Eiwa University

---

**今野 均** 片平地区まちづくり会  
 Hitoshi Konno  
 Katahira community development association  
 『片平流防災まちづくり活動について』

---

**堀野 正浩** 仙台観光国際協会  
 Masahiro Horino  
 Sendai Tourism, Convention and International Association  
 『外国人住民と地域防災について』

---

**柳谷 理紗** 片平地区まちづくり会  
 Risa Yanagiya  
 Katahira community development association  
 『防災情報発信』

---

**溝井 貴久** 片平地区まちづくり会  
 Takahisa Mizoi  
 Katahira community development association  
 『防災人材育成の取組み』

---

**片平子どもまちづくり隊**  
 片平地区まちづくり会  
 Katahira children's board for community development  
 Katahira community development association  
 『防災宝探しゲームに参加して』

---

**コメンテータ**  
 佐藤 健 東北大学災害科学国際研究所  
 Takashi Sato  
 International Research Institute of Disaster Science, Tohoku university

